

秋田県DX推進計画の進捗状況について(令和5年度)

DX戦略本部事務局

資料2

DX推進計画に掲載している取組を着実に進めるため、DX戦略本部において、毎年、進行管理を行うこととしており、令和5年度の進捗状況は次のとおりである。

1 進捗状況の概要

計画に掲載している82の取組(再掲を除く)について、KPIやロードマップ等で進捗状況を評価した結果、約9割(下記A及びB)が順調に進んでいる。

A:計画を上回る 17件(20.7%) **B:計画どおり 60件(73.2%)** **C:計画を下回る 5件(6.1%)**

| 分類 | 取組事項 | R4 | R5 |
|---------------------|---------------------------------------|----|----|
| 行政 | | | |
| (1) 行政手続のオンライン化 | 1 電子申請・届出サービスの充実 | B | B |
| | 2 建設業関係手続(許可・経営事項審査・入札契約手続)全般の電子化 | C | B |
| | 3 キャッシュレス納付の推進 | C | C |
| | 4 共通納税システムへの対応と納付書へのQRコード記載による納付環境の拡大 | B | B |
| | 5 旅券の電子申請及び手数料のクレジットカード納付の導入 | B | B |
| (2) マイナンバーカードの普及・活用 | 6 マイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援 | C | B |
| | 7 運転免許証のデジタル化(マイナンバーカードとの一体化) | B | B |
| (3) 行政事務の効率化と働き方改革 | 8 RPAやAIなど先進的な技術の導入による業務改善の推進 | B | B |
| | 9 文書管理システムと財務会計システムの連携 | B | B |
| | 10 人事管理システム等の活用による異動作業等の効率化 | B | A |
| | 11 予算編成、執行管理に係るシステムの統合及び内部統制機能の搭載 | B | B |
| | 12 法制執務の一部におけるデジタル化 | B | B |
| | 13 テレワーク実証実験 | A | A |
| | 14 認知機能検査のデジタル化 | - | B |
| (4) 情報システムの最適化 | 15 庁内情報システムの最適化 | B | B |
| | 16 基幹県税システムの他自治体との共同利用及びクラウド化 | B | B |
| | 17 予算編成、執行管理に係るシステムの統合及び内部統制機能の搭載 | B | B |
| | 18 河川・道路・下水道施設等の効率的な管理システムの構築 | B | B |
| | 19 漁港施設点検システムの導入による業務効率化 | - | B |
| | 20 オープンデータの公開の推進 | A | A |
| (5) オープンデータ化の推進 | 21 都市計画基礎調査のオープンデータ化 | B | B |
| | 22 県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用 | B | B |
| (6) 市町村のデジタル化の推進 | 23 市町村の基幹系業務システムの標準化及び導入支援 | B | B |

| 分類 | 取組事項 | R4 | R5 |
|------------------------|--|----|----|
| 産業 | | | |
| (1) 産業の生産性向上と競争力強化 | 24 製造業や商業・サービス業等におけるIoT等のデジタル技術の導入による生産性向上や新事業創出等の取組への支援 | B | B |
| | 25 実証プロジェクトの実践によるDXの先事例の創出 | B | B |
| | 26 デジタル化実践事例の横展開 | B | B |
| | 27 企業のデジタルリテラシー向上への支援 | B | B |
| | 28 デジタル化やDXを推進するデジタル牽引企業の創出 | B | B |
| | 29 企業誘致の促進によるデジタル需要の受注拡大とデジタル人材の雇用確保 | A | A |
| | 30 県制度融資の機関間におけるデジタル化の推進 | B | B |
| | 31 製造業のDXを3D設計開発技術等で支える人材の育成 | B | B |
| | 32 医療福祉・ヘルスケア分野のオンラインビジネスマッチングプラットフォーム構築 | - | A |
| | 33 ICT企業の人材確保・育成の支援 | A | A |
| (2) スマート農林水産業の推進 | 34 スマート農業を支える基盤整備の実証 | B | B |
| | 35 多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進 | B | B |
| | 36 次世代農業技術の研究の推進 | A | A |
| | 37 漁獲情報等のICT化の推進 | B | C |
| | 38 水産物オンライン販売体制強化 | A | B |
| | 39 ドローンなどを活用したスマート林業の普及拡大 | B | B |
| | 40 スマート園芸技術の普及拡大 | - | B |
| (3) デジタル技術を活用した観光施策の推進 | 41 観光におけるデジタルマーケティングの推進 | B | B |
| | 42 デジタル技術を活用した観光エリアの収益性向上支援 | B | B |
| | 43 観光地点等パラメータ調査のデジタル化 | - | B |
| (4) ICT建設工事の拡大 | 44 ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上 | B | B |

| 分類 | 取組事項 | R4 | R5 |
|--------------------------------------|---|----|----|
| くらし | | | |
| (1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進 | 45 医療のデジタル化の推進 | B | B |
| | 46 医療ネットワークの推進 | B | C |
| | 47 急性期疾患に対する遠隔画像診療ネットワークの構築に向けた支援 | B | C |
| | 48 ICTを活用した健（検）診予約システムの全県展開 | B | B |
| | 49 介護職員の負担軽減や業務効率化に資するロボット・ICT導入への支援 | A | A |
| | 50 医療的ケア児支援に資する情報共有ツール構築への支援 | - | B |
| | 51 医療扶助のオンライン資格確認の導入 | - | B |
| | 52 福祉相談業務支援システムの導入 | - | B |
| | 53 介護保険業務のオンライン化及びAIを活用したFAQ検索システムの構築 | - | B |
| (2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上 | 54 バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援 | C | B |
| (3) 防災情報の充実・高度化 | 55 総合防災情報システムの更新・整備 | B | B |
| | 56 河川・道路・港湾に関する防災・災害情報の充実・高度化 | B | B |
| (4) 教育のICT化の推進 | 57 ICTの活用による秋田の探究型授業の質的な改善 | B | B |
| | 58 広域的な職場体験・インターンシップや県内企業について学ぶことができるウェブサイトの管理・運営 | B | B |
| | 59 地域資源とICTを活用した「キャリア設計e-ミーティング」の実施 | A | A |
| | 60 デジタル探究コースの設置や専門人材を活用した教育の推進によるデジタル人材の育成 | B | A |
| | 61 ICTの活用による質の高い授業の実施 | B | A |
| | 62 オンライン式即興型英語ディベート交流会（e-Debate 交流会）の実施 | A | A |
| | 63 児童生徒の利用を対象としたネットパトロール及びインターネット健全利用の啓発 | B | B |
| | 64 ICTの活用による障害の状態や特性等に応じた学びの充実 | B | B |
| | 65 ICTの活用による校務の効率化 | B | B |
| 66 DX推進に資する分野を超えた連携研究や先導的人材の育成に対する支援 | C | A | |

| 分類 | 取組事項 | R4 | R5 |
|-----------------------|--|----|----|
| くらし | | | |
| (5) オンラインを活用した文化芸術の推進 | 67 オンライン等の活用による秋田の文化の魅力発信強化 | B | A |
| | 68 美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実 | B | B |
| (6) AIの活用等による地域振興 | 69 オンラインを活用した大学生等への情報発信 | B | B |
| | 70 オンラインを活用したセミナー等の開催 | B | B |
| | 71 AIの活用等による移住相談対応の充実と地方移住関心層等に対するアプローチの強化 | B | A |
| | 72 デジタル技術を活用した動物愛護及び管理の推進 | C | A |

| 分類 | 取組事項 | R4 | R5 |
|---------------------|---|----|----|
| 環境基盤 | | | |
| (1) デジタル人材の確保・育成 | 73 DX推進アドバイザーの活用 | A | B |
| | 74 DX推進のための若手職員ワーキンググループ | B | B |
| | 75 庁内におけるデジタル人材の育成 | B | A |
| (2) DXを支える情報関連産業の振興 | 76 “デジタル化の地産地消”に向けた県内企業と県内ICT企業のマッチング支援 | B | B |
| (3) デジタルインフラの整備促進 | 77 携帯電話不感地域の解消 | B | B |
| | 78 ラジオ放送不感地域の解消 | B | B |
| | 79 5G等新たな情報通信基盤の整備の推進 | B | B |
| (4) デジタルデバイス対策の推進 | 80 スマートフォン操作体験会等の実施 | C | C |
| | 81 県民がデジタルを身近に感じ触れることができる機会の提供 | B | B |
| | 82 学術研究機関等との連携によるヒューマンインタフェースの研究開発の推進 | B | B |

2 主な取組の進捗状況

【行政】～ デジタル・ガバメント ～

(1) 行政手続のオンライン化

① 電子申請・届出サービスの充実（企画振興部）

| | | |
|---|---------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・行政手続の電子化率 R5：80% | 【進捗】 ・電子化率 R5：78.1% (R6.3時点) | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・電子申請の導入が進まない手続について、ヒアリングを通じて課題解決を図りながら更なる電子化を推進する。 | | |

② キャッシュレス納付の推進（出納局・企画振興部）

| | | |
|---|---|---------------|
| 【R5計画】 ・キャッシュレス納付が可能な手数料等の割合 R5：37% | 【進捗】 ・手数料等の割合 R5：15% (R6.3時点) ・スポーツ科学センターと近代美術館にキャッシュレス端末を設置。 | 【評価】 C |
| 【今後の取組等】 ・令和6年10月より、窓口にキャッシュレス決済端末を設置し、使用料・手数料を納付する際、現金、証紙による納付のほか、クレジットカード、電子マネー、QRコードによる支払いに対応する。(15%→60%となる見込み) | | |

(2) マイナンバーカードの普及・活用

① マイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援（企画振興部）

| | | |
|---|--------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・マイナンバーカード交付率 R5：100% | 【進捗】 ・交付率 R5：81.3% (R6.3時点) | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・マイナンバーカードの更なる普及を図るため、高齢者施設や個人宅等に出向いての申請受付など、申請困難者への支援等の実施について、市町村へ働きかけていく。 | | |

② 運転免許証のデジタル化（マイナンバーカードとの一体化）（警察本部）

| | | |
|--|--|---------------|
| 【R5計画】 ・共通基盤システムへの移行 | 【進捗】 ・運転者管理システムを警察共通基盤に移行し、運用を開始 (R6.1) | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・マイナンバーカードとの一体化に向けて、機器・ソフトウェアの調達のほか、既存システムの改修を進める。 | | |

(3) 業務の効率化と働き方改革

① テレワーク実証実験（総務部、企画振興部）

| | | |
|--|------------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・テレワーク利用可能者数 R5：1,000人 | 【進捗】 ・利用可能者数 R5：1,066人 (R6.3時点) | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・令和6年度よりテレワーク制度を本格導入するほか、コラボレーションツールの実証等を通じて、テレワーク環境の更なる充実を図る。 | | |

(4) 情報システムの最適化

① 予算編成、執行管理に係るシステムの統合及び内部統制機能の搭載（総務部、企画振興部）

| | | |
|--|--|---------------|
| 【R5計画】 ・統合業務の検討及びベンダー各社への情報提供依頼 | 【進捗】 ・業務フローの明確化や要求機能の洗い出し、RFIの実施を通じて概要設計を策定 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・令和6年度は、新財務会計システムの詳細設計を行い、具体的な作業プロセスや仕様を決定する。(令和7～8年度システム構築) | | |

(5) オープンデータ化の推進

① オープンデータの公開の推進（企画振興部）

| | | |
|--|---------------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・オープンデータ化した県有データ数【累積】R5：150件 | 【進捗】 ・オープンデータ数【累積】R5：223件 (R6.3時点) | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・新規データ公開申請時における内容審査を設け、二次利用可能なデータ形式(CSV)での提供拡充を図る。 | | |

(6) 市町村のデジタル化の推進

① 県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用（企画振興部）

| | | |
|---|---|---------------|
| 【R5計画】 ・セキュリティクラウドの共同運用により、県、市町村共に強固なネットワークセキュリティを維持する。 | 【進捗】 ・7県（各県市町村含む）でセキュリティクラウドを共同運用し、セキュリティレベルの向上とコスト圧縮を図った。 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・現在国が経費負担しているガバメントクラウド（Webサーバ防御）について、令和7年度から地方自治体で経費負担していく方針が示されたことから、契約等について、関係者と協議を進めて行く。 | | |

【産業】～ 県内産業のDX ～

(1) 産業の生産性向上と競争力強化

① 製造業や商業・サービス業等におけるIoT等のデジタル技術の導入による生産性向上や新事業創出等の取組への支援（産業労働部）

| | | |
|---|------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・デジタルツールのトライアル導入への補助 | 【進捗】 ・補助件数 R5：12社（R6.3時点） | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・デジタル技術の効果的な活用による経営課題の解決に向けた取組を推進するため、今後は国のIT導入補助金の活用を促していくとともに、DX戦略策定・実行に向けた伴走型支援を実施する | | |

② 医療福祉・ヘルスケア分野のオンラインビジネスマッチングプラットフォーム構築（産業労働部）

| | | |
|---|-----------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・オンラインビジネスマッチングプラットフォームに参加する県内企業数 R5：25社 | 【進捗】 ・企業数 R5：28社（R6.3時点） | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・県外企業や医療従事者とのマッチングによる新規参入や販路開拓を支援するため、引き続き企業PRコンテンツの充実やプラットフォーム上でのセミナー開催によるマッチング件数の増加を図る。 | | |

(2) スマート農林水産業の推進

① 多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進（農林水産部）

| | | |
|---|---|---------------|
| 【R5計画】 ・スマート農機を活用した省力・低コスト化の検証 | 【進捗】 ・ロボットトラクター等による省力効果を検証 ・ドローンや収量コンバインによる収量ムラ等の検証 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・スマート農機による省力効果の検証を行うとともに、可変施肥技術の実証を進める。 | | |

② スマート園芸技術の普及拡大（農林水産部）

| | | |
|---|-------------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・スマート園芸技術の周知・普及 | 【進捗】 ・現地実演会の開催：9回 ・参加者：延べ204名 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・引き続き現地実演会等を開催し、農業者等へ技術の周知・普及を図る。 | | |

(3) デジタル技術を活用した観光施策の推進

① 観光におけるデジタルマーケティングの推進（観光文化スポーツ部）

| | | |
|--|--|---------------|
| 【R5計画】 ・県が構築する観光デジタル情報プラットフォームへの参加事業者数 R5：50事業者 ・秋田県公式観光サイト「アキタファン」のページビュー数 R5：162万PV | 【進捗】 ・参加事業者数 R5：45事業者（R6.2時点） ・ページビュー数 R5：273万PV（R6.3時点） | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・令和6年度は、観光デジタル情報プラットフォームの対象地域を全県に拡大するとともに、参加事業者の増加を図るため、プラットフォームのデータを活用したマーケティング支援やDMOと宿泊事業者等の連携によるエリアマーケティングの実証を行う。 | | |

(4) ICT建設工事の拡大

① ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上（建設部）

| | | |
|---|------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・ICT活用工事の実施件数 R5：50件 | 【進捗】 ・実施件数 R5：44件（R6.3時点） | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・BIM/CIM活用業務やICT活用工事に係る研修会や事例報告会を実施するほか、建設DX加速化事業を継続しハード整備等を支援することにより、更なる普及拡大を図る。 | | |

【くらし】～ デジタル社会 ～

(1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進

① 介護職員の負担軽減や業務の効率化に資するロボット・ICT導入への支援（健康福祉部）

| | | |
|---|-----------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・介護ロボット等導入推進支援事業活用事業所数〔累積〕 R5：180事業所 | 【進捗】 ・活用事業所数 R5：224事業所（R6.3時点） | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・引き続き、介護ロボット・ICT導入経費への助成を実施する。 ・効果的な導入に向けて、伴走型支援や介護ロボット等の試用貸出、ICT人材育成に向けた研修等を開催する。 | | |

(2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上

① バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援（観光文化スポーツ部）

| | | |
|---|----------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・地域公共交通のオープンデータ化に取り組む交通事業者数 R5：22事業者 | 【進捗】 ・交通事業者数 R5：18事業者（R6.3時点） | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・交通事業者向けにオープンデータ利活用講座を今後も開催し、データ作成や更新体制の充実・強化を図る。 | | |

(3) 防災情報の充実・高度化

① 河川・道路・港湾に関する防災・災害情報の充実・高度化（建設部）

| | | |
|--|---|---------------|
| 【R5計画】 ・各情報システムのリモート化（遠隔監視）、監視機器のデジタル化 | 【進捗】 ・河川情報システムはR5年6月に、道路情報表示板はR6年4月にリモート化し運用開始 ・港湾施設点検等にドローンを活用 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・運用後の課題などを整理し必要に応じて改良等を行う。 ・河川水位等のメール配信サービスの登録者増加に向けて、広報等によりサービスの利用促進を図る。 ・港湾施設におけるドローン活用については、平時から操作技術の習熟を図り、災害時の情報収集の充実に努める。 | | |

(4) 教育のICT化の推進

① ICTの活用による質の高い授業の実施（教育庁）

| | | |
|---|--|---------------|
| 【R5計画】 ・プログラミング等のデジタル技術について意欲的に学んでいる生徒の割合 R5：67% | 【進捗】 ・意欲的に学んでいる生徒の割合 R5：93%（R6.3時点） | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・ICTの効果的な活用に関する校内研修を充実させるとともに、学校訪問時の研究授業及び協議会において教員への指導を行う。 | | |

(5) オンラインを活用した文化芸術の推進

① 美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実（教育庁）

| | | |
|---|--|---------------|
| 【R5計画】 ・メタバース空間上への収蔵作品の高精細展示等による新しい文化芸術体験機会の提供 | 【進捗】 ・仮想近代美術館「メタバース×キンピ」を構築（R6年4月より一般公開） ・近代美術館ウェブサイトをリニューアル | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・引き続き近代美術館メタバースのコンテンツの充実を図るとともに、他の県立博物館施設と運用実績やノウハウを共有する。 ・市町村や民間の博物館施設も含め、所蔵資料のデジタル化などコンテンツの共有と利用促進を図る。 | | |

(6) AIの活用等による地域振興

① AIの活用等による移住相談対応の充実と地方移住関心層等に対するアプローチの強化（あきた未来創造部）

| | | |
|--|---|---------------|
| 【R5計画】 ・秋田県への移住者数（県関与分） R5：700人 | 【進捗】 ・秋田県への移住者数（県関与分） R5：834人（R6.3時点） | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・あきた移住・交流メタバース万博（メタバースを活用した移住相談）は生成AIを活用したAIチャット機能により対応する。 ・メタバースイベントの参加者増加に向けて、イベント開催手法等の見直しを行う。 | | |

【環境基盤】

(1) デジタル人材の確保・育成

①庁内におけるデジタル人材の育成（企画振興部）

| | | |
|--|---------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・庁内等デジタル人材育成研修受講者数〔累積〕 R5：800人 | 【進捗】 ・研修受講者数 R5：910人（R6.3時点） | 【評価】 A |
| 【今後の取組等】 ・引き続き、役職や役割に応じた研修を実施する。 ・研修の効果を高めるため、各受講者が事前に外部のEラーニング等を活用して基礎知識を身につけてから研修に臨むようにする。 | | |

(3) デジタルインフラの整備促進

①5G等新たな情報通信基盤の整備の推進（企画振興部）

| | | |
|--|--|---------------|
| 【R5計画】 ・5Gの早期整備に対する国や通信事業者への働きかけ | 【進捗】 ・5G等高速通信基盤の整備の促進について、国及び通信事業者に要望した。 ・5Gの人口カバー率（R5.3末時点） 秋田県89.5% 全国96.6% | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・県内全域への高速通信基盤整備が早期に実現するよう、引き続き国や通信事業者に働きかけていく。 | | |

(4) デジタルデバイス対策の推進

①スマートフォン操作体験会等の実施（企画振興部）

| | | |
|---|-----------------------------------|---------------|
| 【R5計画】 ・スマートフォン操作体験会の参加者数 R5：1,800人 | 【進捗】 ・体験会の参加者数 R5：860人（R6.3時点） | 【評価】 C |
| 【今後の取組等】 ・県民の興味関心を引くように、市町村と連携したイベント連動型の出前講座や学生を講師とした相談会の開催など、新たな方式を取り入れる。 ・市町村広報紙への掲載や町内会へのチラシ配布等、引き続き市町村と連携して広報活動を行う。 | | |

②県民がデジタルに身近に触れることができる機会の提供（企画振興部）

| | | |
|---|--|---------------|
| 【R5計画】 ・体験型イベントを県内3箇所において10月のデジタル月間に開催 | 【進捗】 ・秋田市、能代市、横手市においてイベントを開催し計1,751人が来場 | 【評価】 B |
| 【今後の取組等】 ・より多くの県民が体験できるよう会場選定するとともに、興味関心を引くデジタル技術の展示について民間のアイデアを活用しながら企画し開催する。 | | |